

新選組のふるさと日野

まことくん絵付体験

日野市立図書館ブックリスト 2025

新選組を語りながら、自分だけのまことくんをつくる講座。講座に参加する前に、浅田次郎氏の新選組三部作を読んで、予習しておきませんか？

壬生義士伝

浅田 次郎／著

文芸春秋 2000年

鳥羽伏見の戦いの夜、ひとりの新選組隊士が大坂南部藩屋敷の門を叩く。隊士の名は、吉村貫一郎。元南部藩士で、貧しさゆえに藩を脱藩し、新選組に身を投じたのであった。

剣の腕がたつ吉村は、「人切貫一」と恐れられていた。一方で、蔑まれても「守銭奴」に徹していたのは家族のため。死にたくない

から人を斬ると公言してはばからない。新選組でただひとり、庶民の心を失わなかった隊士であったかもしれません。

わちがいやいとさと

輪違屋系里

浅田 次郎／著

文芸春秋 2004年

島原の遊女系里と、「みぶろ」と呼ばれていた壬生浪士組（のちの新選組）の物語です。

浪士組は、芹沢鴨を筆頭とする水戸派と近藤勇を筆頭とする試

浅田次郎氏略歴

1951年東京生まれ。旺盛な執筆活動とその功績により2015年に紫綬褒章を受章、19年に菊池寛賞を受賞。

「鉄道員」で直木賞、「中原の虹」で吉川英治文学賞、「帰郷」で大佛次郎賞受賞。

一刀斎夢録

浅田 次郎／著

文芸春秋 2011年

最強と謳われた新選組三番隊隊長・斎藤一は、西南戦争を経て、大正時代まで生き残りました。

老いた斎藤一が近衛師団の若い中尉に夜ごと語る、幕末の動乱、そして剣の奥義。

新選組の辿った運命を、斎藤一の視点で語られます。

